

経営者に笑顔を。
福島県の商工会は、
あなたのイノベーションを
サポートします。

新商品開発を支援

創業支援



04



有限責任事業組合
いわき・げんき・すてき屋

川崎憲正 さん

セミナー受講を契機に
有志で6次化に挑戦中

挑戦する創業者

あきらめなければ
夢は叶うもの



折笠美紀 さん

創業支援

01 飲食業の差別化戦略支援

右ページに掲載

経営者に笑顔を。
福島県の商工会は、
あなたのイノベーションを
サポートします。

挑戦する創業者

イメージアップも
営業差別化ですね



菊地紀男 さん

創業支援

02 「士業」 のブランディング

左ページに掲載

目標を持って学んだ
「経営塾」が役立った

訪問介護事業を起業

創業支援



長谷川裕希 さん

01 創業支援

いわき市



思いをすべて相談 夢実現に一直線 折笠美紀さん

海外のホームステイでアルバイトを経験。お客様の笑顔に魅了され飲食業に興味を持つ。帰国後アルバイトをしながら経営ノウハウを身につけスペインのお洒落な酒場をコンセプトに念願のお店を開業。



営業時間/昼 11:30-14:00 / 夜 18:00-23:00 休/日、祝

「サンキュー」に魅せられ、今でも接客のバックボーン

「サンキュー」の一言が私をかえた

オーストラリアにワーキングホリデーで日本食レストランで働いた経験がある。たどたどしい英会話の接客にもかかわらず「お客様からのサンキューという言葉が忘れられず」飲食業に関心を持った。

帰国後も友人のお店を手伝い、はたまた来店していたお客様が飲食店のオーナーであり「やってみたら」と天性の性分を見込まれたエピソードがある。

揺らぐ不安が確信に変わった商工会の相談

「自分のお店を」と考えると「偶然集まったバーテン、シェフのスタッフ」に恵まれ準備へ。しかし資金のこと、お店のスタイル、今の流行は…いざとなると計画がぐらつき始めたのは言うまでもない。

考えていることはすぐに何でも相談に

駆け込んだ。商工会スタッフは頼もしい参謀であった。思いを話すうちに計画が整理され「大丈夫ですよ」の一言が前に進む原動力となり、スタッフの「いけるよ」という言葉も心強い後押しとなった。

サービスの質を高め、楽しめるお店へ

これからは「真のお店の価値評価をしていただくことになる」と折笠さんは考えている。例えば女性がちょっとお洒落をしてきていただけるお店になること、平日はサラリーマン中心でもお客様単価は開店当初と比べて高くてもご満足いただける店をめざしている。

英会話に自信がなくても帰ってきた「サンキュー」という言葉は、今でも折笠さんのバックボーンにある。喜んでいただくことに終わりはない。



corporate profile

- 企業名: DINING BARタリコ
- 代表: 折笠美紀
- 従業員: 5名
- 開業: 2010年3月
- 住所: 福島県いわき市平字4丁目22-2
- TEL: 0246-23-6616
- URL: <http://drico.info/>



海老料理
シェフおすすめの一品

スペイン風酒屋(バル)をコンセプトに経営。シェフ、バーテンダーなど専門スタッフと独自メニューで質の高いサービスを提供する努力をしている。店内の雰囲気もよくリピーターが多く、お客様単価も伸びている。



堅苦しいイメージを打破
親近感のある会社に変身

菊地紀男 さん

ファイナンシャルプランナーの資格を持つ傍ら、一人ひとりの人生に責任あるおつきあいをしたいと考え社会保険労務士の資格も取得。お客様からの信頼を得るため、企業イメージUPに取り組む。

W&L CONSULTANT

起業後、自社のマーケティングの一環としてイメージUP活動のためにVIを導入した。

専門家の支援を受けて、自社ブランディングができた

社労士の使命

人の人生を左右するから真剣。問題がないよう考えて最善策を提案する仕事だ。円満に解決すること、無用な労力や費用が発生しないための環境づくりも同時進行だ。

法律で縛るのではなく「人を活かすことを心がけている」という。経営者が守らなければならないこと（賃金、人財活用、解雇）に注力している。やはり営業職を経験した社労士ならではの発想である。

商工会支援によるブランディング確立

豊富な営業経験を持ってしても、土業の営業の悩みはつきない。商工会にHP制作を相談、支援を受けた。次に「ブランディングやロゴ」制作も依頼した。開業間もないため、いかに認知していただくかを真剣に考えた結果のことだ。

人にかかわる仕事の意味をロゴに込める

社労士は「税理士や弁護士に比べると知名度が低い」。自分の仕事を一言で形にして表せる何かを期待してのことである。

自分で考えても名案がなく、ようやく紹介された専門家のアドバイスと支援により思いは形になった。「W」は専門家・社労士としての「Work」、人にかかわるので「L」は「Life」、それをつなぐのが（菊地さんの）仕事という意味がこめられた表現になった。

課題とこれからの営業は

「手続きを的確に迅速にするのは当たり前ですが最終目標は、関わったお客様（企業）が、安定することによって企業業績も向上することだ」と菊地さんは考えている。人の一生にかかわり、真剣にその人の人生と関係を持つという自覚が溢れている。



corporate profile

- 企業名: W&Lコンサルティング社労士事務所
- 代表: 菊地紀男
- 開業: 2009年8月
- 住所: 福島県いわき市中央台鹿島1丁目44-1
- TEL: 0246-68-6871
- FAX: 0246-68-6103
- URL: <http://www.worklife-support.jp/>



説明会やセミナーなどは判りやすいと好評

豊富な営業経験とファイナンシャルプランナーの資格を併せ持つ。中小企業の人に関する課題解決のための提案を得意とする。

03 創業支援

猪苗代町



訪問介護事業を 起業した 長谷川裕希さん

看護師として勤務しながら「創業塾」に学ぶ。創業準備、会社設立、事業認可取得と同時進行で進めた。商工会には資金計画に伴う事業計画を中心にした支援を受けながら短期間で開業できた。



スタッフ6名は全員有資格者。キャリアも豊富でお客様からの信頼も高い

経営のイロハは創業塾で学び、資金調達は商工会と二人三脚

確かな技術よりも誠実な活動でスタート

「福祉の主流はやがて在宅になる」と長谷川さんは考え、勤務の傍ら「創業塾」に学ぶ傍ら創業の準備に舵をきった。看護職としての経験が長谷川さんを動かした。資金や計画の確認は商工会の支援を受けた。

開業前5,000枚のピアを作成し、1軒1軒挨拶訪問をした。約2ヶ月をかけた地元高齢者の安否確認と介護の困りごと相談を中心に活動をスタートさせた。スタッフにも恵まれ全員がキャリア10年以上で「介護に熱い仲間」が集まったプロ集団としてスタート。背景には長谷川さんが長年、町の介護アドバイザーという専門職を歴任、また「認知症ケア専門士」の資格を有しており、地域では指導者的立場として活動してきたことが大きな財産となっている。

震災によって変わった環境

震災前、デイサービスを利用していた認定者は在宅時間を大切にするようになり、要介護度の高いお客様からの依頼が、つばさに増えている。

今後の事業所運営と課題は？

「どんなサービスを受けても保険費用と自己負担金は同じ。やがて質の高い事業者が選ばれる時代がくる」と長谷川さんは考えている。お客様の判断と評価を知るため年1回「満足度調査」を実施している。現状の評価に甘んじることはない。スタッフを指名制にできないかという要望も多いという。「スタッフの誰が訪問しても喜んでいただけるサービスの提供」という高みを目指し、つばさ介護事業所は頑張っている。



corporate profile

- 企業名：㈱つばさ(つばさ訪問介護事務所)
- 代表取締役：長谷川裕希
- 従業員：6名
- 資本金：100万円
- 開業：2010年8月
- 住所：福島県耶麻郡猪苗代町大字千代田字中島29-3
- TEL：0242-72-1031
- FAX：0242-72-1033
- URL：<http://tsubasa-e-go.com/>

社名「つばさ」の由来

つかいたいとき
ばしょや時間をとわず
さーびすいたします

創業から参画している
スタッフたちみんな
で決めた理念を盛り込んだ社名。

04 創業支援 いわき市



新商品開発を通して
新たな食ビジネスへ

川崎憲正 さん

商工会主催の勉強会に参加した有志が集まり、オリジナル商品「ドレッシング」の製造・販売に挑戦している。設備投資から販路開拓に至るまで商工会の支援を受け挑戦を続けている。



現在3種類のドレッシングを販売中

地域有志が集まり、6次化組合目指しドレッシングづくり

きっかけは「いわきビジネス実践塾」

商工会が2011年実施したセミナーで「食と農をテーマ」にした勉強会で学んだメンバーが今回の中心である。ドレッシングを柱にした商品開発から販売までをめざした実践型セミナーで学んだ後、実行してみたいという有志が集まりスタートした「商工会有志プロジェクト」である。

現在の課題は？

すべての工程を手作業で製造しており「設備というよりも試験創業状態ですから非効率そのもので、採算はとれてない」(笑)と、代表の川崎さんは言う。それでも月1~2回集まり「ハンドメイド・ドレッシング」を作っている。

続ける理由は構成メンバー6人全員が

「食」に関する仕事に従事し、6次化を自分たちで形にしたいという強い思いがあるからだ。

商工会の支援、サポートは？

最優先すべき課題は量産化するための設備資金を確保することだとメンバーは考えている。商工会のスタッフが交渉窓口に出向き、情報収集にあたっている。一方で福島特有の問題にも直面する。放射線を検査する検査機器を導入し「安心、安全な食材」をアピールすることである。

創業まもない組合メンバーにとって高度な専門知識や学術研究者との知見をサポートすること、また販路開拓のための情報収集などは、商工会の支援をこれからも必要としている。



組合員のみなさん／写真左から高橋美枝子、鈴木孝典、川崎憲正、蛭田秀史、志賀良信さん(※折笠茂子さんは表紙)

corporate profile

- 企業名: 有限責任事業組合
いわき・げんき・すてき屋
- 代表理事: 川崎憲正
- 組合員: 6名
- 出資金: 30万円
- 開業: 2012年1月
- 住所: 福島県いわき市四倉町字町田142-7
- TEL: 0246-32-2935
- FAX: 0246-32-3002

商品購入に関するお問合せは、
川崎食品(株) TEL: 0246-32-2935にて承ります。



「ダブルベリードレッシング」には、地元・田子町の新鮮ないちご(写真)とブルーベリーを使用。

05 継続支援

田村市



規格外の農産物に付加価値
低温乾燥加工と微粉末加工

佐藤喬さん

田村市滝根町にて、農産物の低温乾燥・微粉末加工品の製造販売、受託加工を行っている。東日本大震災後の原発事故による風評被害もあり経営が苦境になるが、持ち前のチャレンジ精神と商工会のサポートで復活への歩みを続ける。



低温乾燥によるりんご（加工前と加工後）

震災以降、風評被害に耐える日々。乾燥加工に復活を期待

震災と原発が消費を一変

平成21年12月に経営革新の承認後は「キクイモ」が追い風となり順調な業績で推移していた。しかし原発の風評は業績を一変させた。「震災のときにハウスにいて掘っているときに地震がきた。その後原発（事故）だから汚染はないんですがね」。それでも、風評被害で商談は却下され売り上げどころか返品が続いた。

HPで復調の兆し

自衛策として長野県・飯田に栽培委託するなど生産拠点を移動し経営改善を実施。商工会に支援を仰ぎHPでの告知と案内、さらには小ロット受注対応への切替えが功を奏した。食生活の需要変化もあり最近柿の乾燥、ごぼうの粉末、さらには塩麹ブーム等で受注が少し回復してきている。

販路拡大への努力

3年前から茨城大学の先生の支援のもとがん治療研究テーマとしてキクイモの将来性に期待を寄せるが、塩麹同様「関東圏マーケットの反応が冷ややか」という。こう着状態を打破するため、現在関西方面へのマーケット拡大を狙い資料やデータ提供をなど懇切丁寧な営業をしている。また農産物の多面性としてハロウィン用のかぼちゃ栽培。精進料理用かぼちゃは面取りの付加価値をつけ市場性を探る等アイデアを実行計画として準備中である。

商工会に期待し望むこと

各種経理関係のチェックには商工会の高い実務能力を評価。また、商工会HPにリンクされることで会社がいかに信頼されているかを強く感じたという。



震災後、障害者雇用を引き受けキクイモ等のパウダー生産を続けている

corporate profile

- 企業名：わくわくあぶくま夢ファーム
- 代表：佐藤喬
- 従業員：6名
- 開業：2005年9月
- 住所：福島県田村市滝根町菅谷字畑中259
- TEL：090-5183-3070
- FAX：0247-78-3488
- URL：<http://www.shokokai.or.jp/07/075231S0028/index.htm>

顔と心が 見える関係

ご相談の流れ

- 1 経営支援は、コミュニケーションから
- 2 相談内容のヒアリング、支援プロセスのご提案
- 3 計画の『見える化』から成果が期待できる手法レベルまで支援
- 4 創業・新規事業に必要となる「補助金」「融資」など資金も支援
- 5 目標達成までフォローアップ

？ 経営支援とは、イノベーションサポートサービスです。商工会が、専門家・大学・公的研究機関・行政などと一緒に、多角的視点と成果が期待できる手法で、あなたに合った経営課題解決策を提供する”創業者””小規模事業者””中小企業”向けの中期伴走型イノベーションサポートサービスです。

！ 商工会は、北海道から沖縄まで全国1,694の商工会で組織する、創立50年の全国ネットワークです。“地域”や”小規模事業者””中小企業”の地域・経営課題解決のため、ノウハウを持つ専門家・シンクタンク・大学などのネットワークを持っています。

“ALL JAPAN”で活躍する専門家と一緒に、あなたの経営を良くすることができます。

経営者に笑顔を、福島県商工会連合会、89商工会は、あなたのイノベーションをサポートします。

URL:<http://www.keiei.do-fukushima.or.jp/>



福島県商工会連合会 89 商工会

指導部 経営支援グループ

福島市三河南町1番20号
コラッセふくしま9F
TEL: 024-525-3411
FAX: 024-525-3413
MAIL: keiei@do-fukushima.or.jp

まずは、お気軽にご相談下さい。
お電話・窓口相談は、平日9:00～17:00
FAX・メールでも受け付けております。



会津広域指導センター

会津若松市南千石町6-5
会津若松商工会館2F
TEL: 0242-28-0731
FAX: 0242-38-2124
MAIL: aizu@do-fukushima.or.jp



中通り広域指導センター

郡山市成山町15-2
TEL: 024-945-7860
FAX: 024-937-0082
MAIL: naka@do-fukushima.or.jp



浜通り広域指導センター

いわき市平堂根町4-17
いわき中央ビル5F
TEL: 0246-25-1011
FAX: 0246-25-1013
MAIL: hamadori@do-fukushima.or.jp